

# 総合防災訓練を実施しました

防災ワンポイントコーナー

## アトサヌプリ(硫黄山)の水蒸気噴火を想定



①避難者集合・受け付け・安否確認 ②自衛隊車両による被災状況の偵察 ③パトカー先導の下、川湯駅前地区の住民を自衛隊車両で輸送 ④巡回バスによる自主避難者の輸送 ⑤消防による患者の応急救護・緊急患者搬送訓練 ⑥災害用自動販売機の実演 ⑦火山防災講座に聴き入る参加者 ⑧171(災害時伝言ダイヤル)のデモ体験 ⑨自衛隊の炊事車と炊事班が炊き出し ⑩川湯女性消防団員らによる配食 ⑪訓練終了式 ⑫所見を述べる徳永町長



11月25日

### Jアラート全国一斉情報伝達訓練

Jアラート(全国瞬時警報システム)による全国一斉情報伝達訓練が行われます。

▶日時/11月25日(水) 11時ころ

▶内容

消防の放送設備(拡声器)・役場庁舎の館内放送を通じて、次のとおり音声の流れます。

『上りチャイム～これはテストです×3回～こちらは、防災弟子屈町です。…～下りチャイム』

▶お願い

今回は情報伝達のための訓練となりますので、避難など特別な対応は必要ありません。  
震度5強以上の地震など、実際に大規模な災害などが発生したときには、今回の試験放送と同様の音声の流れます。いざというときに備えて、警報システムの放送イメージを確認しておいてください。

**知識と共助の心を持つ**  
訓練には、川湯駅前、川湯温泉まち、川湯第三、川湯敷島町、川湯跡佐登、川湯温泉みどりの各自治会の皆さん80人と川湯中学校の生徒・教職員34人が参加。また、役場や弟子屈警察署、弟子屈消防署川湯支署、川湯消防団、陸上自衛隊第27普通科連隊、北海道コカ・コーラ釧路事業所中標津販売課、NTT東日本―北海道釧路支店などからの参加者を合わせて、総勢241

人が参加しました。  
訓練終了式で、災害対策本部長の徳永町長は「自然災害に対して人間は非常に弱く、阻止することは簡単ではない。災害による被害を防止するためには、必要な知識を身に付け、隣近所が助け合う『共助』の精神を養うことが重要。町では関係機関と協力して、今後も訓練を継続していくので、ご理解と協力をお願いしたい」と話しました。

町では10月2日、川湯駅前交流センターと川湯中学校で、硫黄山が水蒸気噴火したとの想定で総合防災訓練を行いました。前日の低気圧通過の影響で

強風が続いたため、陸上自衛隊のヘリコプターが参加できなかったが、大きな問題もなく終了することができました。

午前10時、釧路総合振興局から「硫黄山が水蒸気噴火した」との連絡が入り、役場と各防災関係機関は第3種緊急配備態勢となりました。  
消防のスピーカーを通じてJアラート(全国瞬時警報システム)を鳴動させるとともに、携帯3社のエリアメールにより川湯駅前地区に避難指示、川湯温泉・跡佐登地区には避難準備指示を発令。併せて、川湯消防団の消防車が避難広報を行い、川湯駅前地区の皆さんが、硫黄

山が水蒸気噴火した場合の一時避難場所「川湯駅前交流センター」に順次、集合しました。  
役場職員、弟子屈警察署員、川湯消防団による避難者の安否確認・健康チェックの後、自衛隊の輸送車両に乗車。JR釧網線沿いの安全経路を通って、川湯中学校へ避難しました。  
避難準備指示を受けた川湯温泉街と跡佐登自治会の皆さんは、自家用車や徒歩、役場が手配した大型バスで、川湯中学校へ自主避難しました。

避難所の川湯中学校では、役場職員が避難者の受け付けを行いました。その後、弟子屈消防署川湯支署員が、負傷した住民の応急救護(緊急患者搬送)の訓練を披露。役場防災担当職員は、硫黄山の防災対策に関する防災講座を、NTT東日本北海道釧路支店は、災害伝言ダイヤ

ルの利用に関する講座をそれぞれ行い、参加者は熱心に聴き入っていました。  
最後に、炊き出し訓練として自衛隊の炊事車両で作ったカレーライスを試食。コカ・コーラ釧路事業所中標津販売課からは、災害用自動販売機による飲料水の無料提供を受けました。

問い合わせ先/役場総務課情報防災係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 2 (課直通)